

『女性下着のデザイナー・パタンナーを目指す方の特別講座』

コロナ禍の影響で延期を余儀なくされましたが、今年も将来の業界を担う商品企画人財育成のため、特別講座を実施しました。

最終日12月19日には受講生の方に、オリジナルブラ&ショーツ デザイン画のプレゼンテーションをして頂きました。

優秀者は下記の通りです。

(1)期間 :2020年10月3日～ 12月19日(全10回)

(2)受講生:20名(学生18・会員社2)

(3)最優秀スチューデント 小林花音さん

優秀賞:服部真央さん・當間麗さん

織 研 新 聞 2020年(令和2年)12月22日 火曜日

日本ボディファッション協会 人材育成特別講座の最終講義



日本ボディファッション協会(NBF)は、専門学校生を主対象に10月に開講した人材育成を目的とした全10回の特別講座を終了した。写真。文化服装学院で行われた12月19日の最終の講義は、参加者一人ひとりが描いたオリジナルのブラジャー・ショーツのデザイン画をもとにプレゼンテーションを行い、業界関係者らが審査した。

1位に選ばれたのは小林花音さん(文化服装学院)。月の満ち欠けなどをイメージしたブラジャーとショーツのデザイン画を描いた。2位には、ボディポジティブの考えをベースにバストをすっぽりと包むブラジャーをデザインした服部真央さん(同)、3位には、「冒険」をテーマに頑張る女性に寄り添う下着をデザインした當間麗さん(同)が選ばれた。

特別講座は昨年に続いて2回目。今年春の開校予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期になり、10月3日にスタートした。下着に関心の高い専門学校生と会員企業の若手社員の計20人が受講し、下着のパターンメイキングやデザインワークを学んだ。来年も実施する予定で、下着業界の活性化のための人材育成事業として力を入れている。昨年の受講生の中には下着業界に就職が決まった学生もいる。



